

## 夏の思ひ出：うさおと Cacco の凸凹万博（古いな表現が）

9月14日の夜に、「東京」発 18:33 分の東海道新幹線「のぞみ」に乗り、途中 Cacco とは「新横浜」で待ち合わせて、名古屋に向かったのだ。勿論、愛・地球博を見るためです。誰かがどうしても、国際赤十字・赤新月館に行きたいって言うので、仕方なくさ。

車内で食べる「崎陽軒のシュウマイ弁当」は美味しいね。ぱくぱくしてる間にもう名古屋に着きました。なんと1時間15分くらいで行っちゃうんだね。速い、速い。で、**由佳**ちゃんちにご一泊。(参照;ご近所トマソン隊かなあ「**由佳**ちゃんち探訪記」)

9月15日朝、**由佳**ちゃんにおにぎり(えーとね！青采の漬物の微塵切りと松茸の炊き込みご飯でした。おいしかったよ。)を作ってもらって、名古屋から地下鉄東山線で「藤が丘」駅へ。



**Cacco** は桜通線の看板にドキドキしていたようだけれども。

ここで**うさお**は大変な間違いに気が付きます。昨日の夜の段階で当然気が付くべきでした。リニモ君のことをJR東海が提供する磁気浮上型リニアモーターカーだとすっかり思っていたのでした。万博師匠(**由佳**ちゃん)に時速 550km/h 位でお客さんを運ぶのでしょうかねえ？と尋ねた時に、怪訝そうな顔をされたこと。しばらくの沈黙の後、リニア館もはずせないねって言われたこと。これらのサインを見逃してしまいました。



リニモ君は跨座式のリニア・トラムだった。中央にアルミ製のリアクション・プレートがあり、これで駆動してタイヤ走行し、軌道下部から集電装置で電源供給されているもの。



東京都地下鉄12号線、大阪鶴見緑地線のリニア・メトロ(鉄輪粘着式リニアモーターカー)を日本地下鉄協会に参画してきた**うさお**としては大変なポカ。事前に情報を挿んでこなくちゃね。万博会場に着くとどったがえすような人の波、**由佳**ちゃんからメール。手荷物審査があるからね。

えーっ。



アニメとやけにシンクロしている。まさか、中で流している映像はこれと同じじゃあないよね。それにしても待たせること、待たせること。ブース内は寝そべるタイプのシートと4面のスクリーンが・・・寝ちやいそう。

終わりました。

**Cacco** はシートに帽子を忘れ、取りに行ったらハンカチを忘れ係りの人はらはらさせた。確かに、お年寄り、女性で泣いている人がいた。

**由佳**ちゃんのように号泣している人は居なかったよ。コメントコーナーでは、**由佳**ちゃんたちのメッセージを探しましたが、よく判りませんでした。ので、桜井を撮ってきました。

次はJR東海館に行きました。3D映像でリアモーターカーが走ってました。三菱館ではキンニ君のような案内のお兄さんが、列を離れたら横入りとして最後尾に並んでもらいますからねって叫びにも臆せず、列を離れ桜の瓦を撮

・・・入場できたのは10時頃。当初予定より遅れること1時間。マンモスは吹っ飛ばして、国際赤十字・赤新月館に直行、行列の末尾に着くことに。待ち時間は3時間半とのこと。5分後にはさらに人が集まり、4時間待ち、その後も人が集まってきたが入場制限を掛けていた。そんな人気があるのか？若い人だけでなくお年寄りも沢山いた。暑い、暑いぞ。

小さなパビリオンで中に入ったら、大して企画屋さんの手が入っていなそうなプレゼン。地雷などが飾ってあった。小さなTVに変なおじさんの無音のアニメーションが流れていた。しばらく見ているうちに、これがアンリ・デュナン(スイス人赤十字の提案者)の伝記であることが判った。奥に映像を映すためのブースがあることに気が付き、桜井和寿の歌声が。





ネパール、ウズベキ、スリランカ、ブータン、イラン、パキスタン、バングラディッシュ、韓国など。亜細亜のパビリオンを回ったら、もうすっかり夜でした。

韓国館ではヨンさまと記念撮影。チマチョゴリのチェジュふう韓国美人が案内役。

ハリボテの光輝く大トラが韓国館入り口の番人。阪神タイガースならぬハングルタイガース！？

祝・  
阪神  
優



りに行った **Cacco**。三菱館の列の脇の芝生には瓦で作られた桜がたくさん飾られてました。**由佳**ちゃんの住む高浜市は瓦の町。きっと高浜市提供の瓦でしょう。三菱館のスクリーンの桜吹雪もとっても綺麗でした。



勝！！

愛・地球博の本格的案内は全館制覇のつわもの**由佳**ちゃんの**のほほん漫遊記**第二回をお読みくださいね。

優しい仏像様やかわいいロボットがたくさんいます。

帰りのアクセスもリコモ君で名古屋へ。人人人のすごい込みようと猛烈な暑さにぐったりだったけど有意義で楽しい夏休みでした！

